



令和7年9月24日(水)

県議会 9月定例会 予算特別委員会

1 能登半島地震による液状化対策について

1 今議会に提案されている宅地液状化防止対策加速化支援事業の発表のタイミングについて問う。

答 弁(知事)

地下水位低下工法が有力な工法として検討されていると理解。5市の市長からはメンテナンスや長寿命化の経費の住民負担が工法決定や合意に大きな課題となっていると聞いている。住民負担はないと現時点で言い切るのには難しいが、国に財政支援の要望を続けている。



2 宅地液状化防止対策加速化支援基金の財源を問う。

答 弁(経営管理部長)

県の財政一般財政に余裕がない中であるが、大規模災害や経済恐慌などの不測の事態に備えてある財政調整基金と市町村の行政水準の向上と住民福祉の増進に寄与するために設置されている市町村振興基金を活用する。

3 宅地液状化防止対策加速化支援の対象がなぜ地下水位低下工法のみとしたのか問う。

答 弁(土木部長)

被災市において地下水位低下工法を軸に検討が進められ、地元で提示された。集水管やポンプ施設の修繕更新など効果発揮に要する経費が継続的に必要であり長期的な負担に対する地域住民の不安が合意形成に向けた課題となっていることを払拭したい。

4 融雪装置の復旧状況、被災地の今冬の道路除雪の体制について問う。

答 弁(土木部長)

県管理道路の消雪施設について76か所の復旧を進めており75か所は終了。残る県道中道国分線は今冬までに復旧予定であるが同じ水源を利用する県道伏木港線の一部はR8年度内の復旧となる見込み。消雪施設復旧に間に合わない箇所は機械除雪での対応を予定。



2 地方創生の推進と新たな魅力づくりについて

5 平成の大合併といわれた市町村合併の効果や課題について問う。

答 弁(知事)

合併市では行財政基盤が強化され行政運営の効率化や行政課題への対応力が向上したり住民サービスの充実などの効果があった。約20年が経過し、社会情勢が急速に大きく変化しており、合併時に引き継いだ公共施設やインフラの老朽化、行政運営や行政サービスの更なる効率化の検討が必要となっている。



6 新たな総合計画の策定にあたり県民や市町村からの意見をどのように反映するのか問う。

答 弁(知事)

「県民と共に考え、県民と共に実現する、県民が主役の計画づくり」を徹底し、10年後の目指す姿の実現に向けて計画期間である5年後の成果目標(KPI)をバックキャストで考え、審議会や市町村、関係団体との意見交換会等において意見をいただいている。

「石破氏の政策継承を」

新田知事は、自民党総選に関し、石破首相の地方創生の取り組みを評価し、自民党に「立憲した5人」に、その政策を継承して「お返ししたい」と期待した。

針山健史氏(自民)の質問に答えた。知事は、石破首相が関係人口の創出に向けて打ち出した「多様な住居制度」に「これ」まさに富山県が進んでいること、自民総選で知事

地方創生推進に期待

と方向性は「一緒」とし、新総裁も取り組みを継承するに期待した。県が誘致を自負する防災庁など政府機関の地方移転も加速するよう訴えた。

欧州と同様、日本も多文化の傾向が進んでいると、自民少数党を左るため、立憲補選に対し「政府の安定のために」とのよう連立を組むかを頭快に示してほしいと述べた。

2024年9月25日 富山新聞

7 県として宿泊税の導入の検討する考えはないのか問う。

答 弁(観光推進局長)

観光客の受入環境の整備・充実を図るために一部の自治体で導入されている(令和7年7月現在で3都府県、9市町)。制度導入には課税客体の範囲や用途、税額や徴収方法など様々な課題があり、直ちに導入する状況ではないと考えている。

3 教育の振興について

8 令和8年度の募集定員において学級数減少が示されている伏木高校に期待することを問う。

答 弁(教育長)

特徴である少人数の語学教育など習熟度に応じたきめ細やかな指導は今後も授業展開の工夫により実施可能。外国語教育や少人数指導、地域との連携活動などの取り組みから人材の育成が進むことを期待する。

2025 議員活動ダイジェスト



2/26 被災地の癒しのためバロを伏木へ誘致。



5/20 政調副会長として地域ブロック政調会長会議へ出席。



8/2~5 高岡市と錦州市の友好都市提携40周年記念事業に参加。更なる相互理解と友好親善を深めるため視察・意見交換・交流等の活動。



東京富山県人会にて朝乃山を激励。



7/16 石破首相に伏木の震災の状況等を説明。



立山登山にて観光地の環境調査。



灯台プロジェクトの雑木除去作業のお手伝い。



鎌倉にて「日台交流サミット」参加。



議員研究交流大会にて愛媛県議となった先輩と再会。



青山宮(台北市)の青山王祭に参加。



自民党部会でニュージーランド訪問。カンタベリー地震(2011年)被災地の視察。



富山南高校での出前講座に参加。



オリジナルグッズを製作し東京や大阪でも販売。



台湾獅子と伏木曳山車のコラボレーションが実現。

